

# ササバギンラン

*Cephalanthera longibracteata* Blume  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では生育地が少なく、個体数も少ない。今回の調査では、登山道付近で生育している事例がみられた。また森林開発など生育環境の変化で個体数の減少がみられる。

## 分 布

国内では北海道～九州に分布。県内では嶺北の落葉広葉樹林の林床に生える。

## 種の特徴

ブナ帯を中心とした林床の日陰に生える。茎は高さ30～50cm。茎は直立し、葉数は5～8枚互生する。卵状披針形の葉は長さ7～15cm、葉先は鋭くとがり、基部は茎を抱く。葉裏と葉縁に毛状突起がある。白色の花を茎頂に3～10個ほどつける。花序の下部の2～3個の苞は特に長い。

## 生育を脅かす要因

道路工事等による生育地の環境悪化、園芸目的の採取等。

参考文献 畔上能力ほか(2013)、福井県植物研究会(1998)、前川文夫(1971)、大橋広好ほか(2015)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○					○			○	○	

# ハクサンチドリ

*Dactylorhiza aristata* (Fisch. ex Lindl.) Soó  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では生育地が嶺北の一部区域に限られており、生育地、個体数ともに少ない。今回の調査でも、生育地の確認ができたが、崩落などにより、生育数の減少が懸念される。

## 分 布

国内では北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では嶺北の山地草原に生育している。

## 種の特徴

亜高山～高山の山地草原帯に生える。葉は倒披針形で、基部は茎を抱き、3～6枚互生する。花茎は高さ約10～20cm。茎頂に数個～10数個の花を総状に付ける。花は紅紫色、側花弁は狭卵形、唇弁は3裂。

## 生育を脅かす要因

登山道工事や雪崩などによる、生育地の消失。

参考文献 清水建美ほか(2014)、福井県植物研究会(1997)、前川文夫(1971)、大橋広好ほか(2015)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○								○	

# クロヤツシロラン

*Gastrodia pubilabiata* Sawa  
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数が限られていて多くない。今回の調査では、個体数の減少が認められた。森林開発など生育環境の変化による影響が考えられる。

## 分 布

国内では本州の（関東以西）～九州に分布。県内の自生地では竹林に株が点々としており、群落になっていることは少ない。嶺北の一部の地域、嶺南の一部の地域に分布している。

## 種の特徴

里地・里山の常緑広葉樹林やスギ植林、竹林の林床の日陰に生える。花茎は長さ2～3cm、暗茶褐色の花を茎先に1～8個つける。花は平開する。果実期に花柄が伸びて、高さが25～40cmほどになる。花期は9～10月。土壌中の共生菌から栄養分を得る腐生植物。

## 生育を脅かす要因

道路工事による森林開発など。

参考文献 遊川知久ほか(2015)、前川文夫(1971)、大橋広好ほか(2015)、若杉孝生(2009)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○		○									○